(七) 礼遇報告書

註
玉 串 料

立 場	金 額
直属教会長 ・ 教区長 ・ 本部詰員 ・ 集会員 (前 ・ 元を含む)	一〇〇〇〇円
右記の配偶者	一〇〇〇円
一般教会長 (前 ・ 元を含む)	一〇〇〇円
右記の配偶者	一〇〇〇円
特に功労のあつた布教所長及び教人	一〇〇〇円

(立教百八十四年一月一日改訂)

- ・ 教務課所定の用紙 (コピー可) を使用のこと。
- ・ 修養科一期講師の経歴は、本部詰員対象外とする。
- ・ 複数の教区にそれぞれ礼遇対象者としての立場がある場合は、葬儀が営まれる場所を管轄する教区がその礼遇を行う。(複数教区で重複の無いように注意のこと)
- ・ 報告書の締め切りは毎月十四日 (郵送必着) とし、その報告書に基づき当月二十五日以降に玉串料を交付する。
- ・ 役職の欄には、本部、大教会、教区、支部などでの役職名を記す。
- ・ 本部在籍者の礼遇は、直接本部が行う。(本部と教区で重複の無いように注意のこと)

受
理
印

礼 遇 報 告 書

(毎月14日までの報告につき25日以降に交付します)

(ふりがな)				出直日	立教	年	月	日
故 人 氏 名				性 別		享 年		才
住 所								
直 属		所 属		分教会		布教所		
立 場 (該当に○)	(1) 直属教会長(配偶者・元・現)			(2) 本部詰員(配偶者・元・現)				
	(3) 教区長(配偶者・元・現)			(4) 集会員(配偶者・元・現)				
	(5) 一般教会長(配偶者・元・現)			(6) 布教所長(元・現)		(7) 教人		
役 職	(本部・大教会・教区・支部などでの役職名)							
礼 遇	玉串料			万円	葬 祭 日	立教	年	月 日
	表統領 の弔辞	有	代読者の立場・氏名					
		無	参列者の立場・氏名					

このたび上記の通り礼遇の取り扱いを致しましたので御報告申し上げます。

立教 年 月 日

表統領

殿

教区

教区長

印

弔 辞 (例の一)

(教会長、前教会長、布教所長)

天理教〇〇分教会(布教所) 長何某氏(姉)が出直されましたことは洵に哀悼に耐えませんが、貴方は親神様のお手引きにより、早くから道のよふぼくとなられ、常に教祖のひながたを目標に人々を導きたすけ、道の先達として仰ぎ慕われると共に教会(布教所) 長として日夜たすけ一条に邁進され、御生涯を道に捧げて、世界たすけの道の伸展に寄与せられた御功績は、誠に尊いものがあります

茲に御生前の功を讃えて、深くその労をお犒い申します

立教 年 月 日

天理教表統領 氏 名

弔 辞 (例の二)

(功績顕著であつた教人)

(立場) 何某氏(姉)が出直されましたことは洵に哀悼に耐えませんが

貴方は、早くから道の教えを聞き分けてよふぼくとなられ、常に教祖のひながたを心に湛え、土地所の成程の人となられたばかりでなく、日々にをいがけ、おたすけに努め、数多の教え子を導き育てて道の上に尽くされた御功績は顕著なものがあります

茲に御生前の功を謝し、その労をお犒い申します

立教 年 月 日

天理教表統領 氏 名